

改善プログラムシート

施設の目指す姿

保健・医療・福祉の連携拠点として、市民の生涯にわたる健康づくりを総合的に推進します。

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
 予算等により変更となる場合もあります。
 ※文言を一部追加(2012年3月)

施設名

健康福祉会館

担当部課名

いきいき健康部健康課

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	乳幼児の健診受診者の利便性の向上	2011年10月 検討開始	センター実施の健診集中から 地域でのサービス向上 駐車場の混雑緩和	1歳6か月児の健診は、一部の市民センターで行っています。 さらに地域の施設を活用し、乳幼児健診を実施することにより、市民の利便性の向上と健診時の駐車場不足などに対応していきます。 また、健診の日程や時間の調整により利用者の集中を緩和できるようなスケジュールの見直しを検討いたします。
②	複合施設としての他課との連携強化	2011年度	・来庁者が多くの保健サービスの 情報を得ることが可能になる。 ・市民にとって利用しやすい施設 になる。	・各フロアごとに異なる利用対象者や、提供サービスについて、各担当課が施設全体として協力関係を強化することで、有効活用を図ります。 ・来庁者に他の事業を知ってもらい、参加してもらう事は、来庁者のメリットになり、施設の有効活用にもつながります。 ・館内表示等を工夫し、他課の行っている事業を、より分かりやすく紹介していきます。また、他課と情報交換を行い、情報共有に努めます。 ・施設内の他課施設(もっこく館やファミリーサポートセンター)との連携につきましては、窓口案内など、できる部分については既に実施しておりますが、今後は、事業間での連携を積極的に行っていきます。
③	<ふれあいもっこく館> 受益者負担のあり方を検討します。	2013年3月	受益者負担の適正化	ふれあいもっこく館については、潜在利用者等のニーズにあったサービスの拡充を図るとともに、受益者負担のあり方の検討を開始いたします。
④	施設のPRや館内案内のチラシにより、利用率向上に努めます。	2011年度	・施設の利用促進 ・講習室利用率の向上	講習室の利用率アップや多様な人数に対応できる会議室の貸し出し方法については、健康課の講習事業利用以外を市民に開放する形式を原則としますが、より市民に有効に利用して頂くための施設のPRや、館内案内のチラシを作成し、施設の利用を促進します。
⑤	情報交換会議の開催	2011年度	各施設でのコスト意識の強化	会館内の光熱水費を健康課が一括で支払いをしているため、他施設でのコスト意識が薄くなる可能性があります。情報交換会議の際には、各施設へ光熱水費の状況をお伝えし、コスト意識の向上に努めます。